

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 26 年 6 月 26 日 (2014.6.26)

【公開番号】特開 2012-240520 (P2012-240520A)

【公開日】平成 24 年 12 月 10 日 (2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2012-052

【出願番号】特願 2011-111492 (P2011-111492)

【国際特許分類】

B 6 2 J 15/00 (2006.01)

B 6 2 J 23/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 15/00 C

B 6 2 J 23/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 8 日 (2014.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

左リヤサイドカバー 5 6 L と右リヤサイドカバー 5 6 R の下側の構造を図 9 に基づいて説明する。

図 9 に示すように、左リヤサイドカバー 5 6 L の前寄り下端に、第 1 フェンダ (図 8、符号 5 8) の左前側締結部 (図 8、符号 8 9 L) と接続される左前取付部 1 0 3 L が設けられ、左リヤサイドカバー 5 6 L の後寄り下端に、第 1 フェンダの左後側締結部 (図 8、符号 9 1 L) と接続される左後取付部 1 0 4 L が設けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

加えて、右リヤサイドカバー 5 6 R の前寄り下端に、第 1 フェンダ (図 8、符号 5 8) の右前側締結部 (図 8、符号 8 9 R) と接続される右前取付部 1 0 3 R が設けられ、右リヤサイドカバー 5 6 R の後寄り下端に、第 1 フェンダの右後側締結部 (図 8、符号 9 1 R) と接続される右後取付部 1 0 4 R が設けられている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 0】

以上に述べた鞍乗型車両 1 0 の作用効果を以下に記載する。

図 1 0 (d) に示す構成により、貫通開口部 8 0 L を第 1 フェンダ 5 8 にのみ形成するため、貫通開口部 8 0 L の内径 D 3 を、リヤクッション 4 5 L の機能性を確保した上でリヤクッション 4 5 L の外径 D c に近づけることができる。貫通開口部 8 0 L の内径 D 3 がリヤクッション 4 5 L の外径 D c に近づくと、貫通開口部 8 0 L とリヤクッション 4 5 L

とのクリアランスC 3を可及的に小さくすることができ、埃・塵等が第1フェンダ58内側に侵入することを抑制できる。

加えて、図7に示す構成により、左リヤサイドカバー56Lを左貫通開口部80Lから離して配置するため、左リヤサイドカバー56Lの形状を左貫通開口部80Lに関係なく自由に設定することができる。したがって、埃・塵等が第1フェンダ58内側に侵入することを抑制でき、左リヤサイドカバー56Lの形状を自由に設定することができる鞍乗型車両10を提供できる。